

うちの青年主婦シニア自慢の



会員にプレゼントを渡してアンケートを回収する清水さん(左)

西東京支部フレッシュの会

【西東京・土木・清水弘】
 ここ2〜3年くらいコロナ禍によって活動ができなくなっていましたが、それまでは6月はウォーキング(三鷹より吉祥寺まで散歩、調布あたりの散歩など)、9月の拡大決起集会には寄席(八法亭みややっこ、立川談之助、東京農業大学落語研究会など)や西東京しゃきしゃき体操、スコップ三味線演奏、11月にはバス旅行、それ以外に夏の冬には憲法、社会

幸齢者をめざして

控えていた活動を再開

【西東京・土木・清水弘】
 コロナ禍でも機関紙「フレッシュの力」の紙面で、まだまだ現役の記事を紹介し、「元気でスマホメール」をほぼ全員に行なったつもりもなりました。



多摩湖ウォーキングに備えて軽い体操

【西東京・土木・清水弘】
 コロナ禍でも機関紙「フレッシュの力」の紙面で、まだまだ現役の記事を紹介し、「元気でスマホメール」をほぼ全員に行なったつもりもなりました。

三鷹武蔵野

つながり作りで結果 初参加者が力強く決意表明

【三鷹武蔵野・書記・三澤克己通信員】三鷹武蔵野支部では、第1次行動に先駆けて、



初参加で決意表明をする井の頭分会の豊永さん(右)

9月10日に分会四役・群三役学習会をかねて「秋の拡大活動者会議」を三鷹市公会堂さんで開催、50人が参加しました。

今回の活動者会議では、分会役員が後継者世代とのつながり作りを春から継続的に進めてきたことが少しずつ実を結び、複数の分会から後継者世代が参加。なかには「今日の会議が何をやっていっているのかよく分からず参加しています(笑)。分会で話し合っただけで目標達成をめざしていきましょ」と、初参加者から力強い決意表明がありました。

またこの月間では、日中の事業所訪問にもこれまで以上に力を入れて取り組んでいます。15日には高橋組織部長が書記局と一緒に組織内事業所を訪問し、セネコンの1次下請で内装工事の事業所と協力

カラビナセット渡し 「未加入者いたら紹介して」



訪問先では親子が明るくお出迎え

【台東・書記・松村健司通信員】第2次統一行動日の9月14日の夕方、松が谷分会のセンターには12人が集合。訪問組2班、チラシまき組2班に分かれて行動を開始。訪れる住所地の地図落としを事前におきそのマップとリストを手に、訪問組は組合員宅をめぐりました。

前半戦5割めざし各支部が大奮闘

賃上げ回答はゼロ

顔合わせの聞き取りで

【杉並・書記・喜多正之通信員】今年の秋の拡大月間は、特に一人一人顔を合わせて聞き取りを重視し、LINE E公式の登録キャンペーンの案内とともに組合アンケートに取り組みしています。

9月15、16日は月間の第2次行動。夜間に自宅を訪問したり、群会議に集まった仲間



訪問先で聞き取りをする吉田副委員長(右)

個別に聞き取りしたりして、21日時点で108人からアンケートを回収していますが、賃金・単価が上がったとの回答は一人もいません。

9月中に超過達成 学習会の参加者が加入

【西多摩・型枠・小野寺肇記】青梅第五分会では9月7日の昼間、分会に所属する事業所3つを訪問しました。



「アンケート、お願いします」

支部としても節目の達成を堅持し、月間目標の達成に向けて奮闘しています。